学校番号	３００２

令和８年度　農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

各専攻で学んでいる知識や技術を駆使し、研究活動や体験的な学習を通して学びを深めていきましょう。その学んだ知識や技術を駆使し、自ら課題を設定して専門的な知識と技術の深化を図るとともに、問題解決力や自発的に取り組む姿勢を身につけましょう。そして、試行錯誤を繰り返しながら、自分で考えて解決していく力（自己解決力）を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・栽培分野における専門的知識・技術を深化し、合理的に考え適切に活用できる応用力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】
・自分が持つ農業の栽培分野に関する総合的かつ専門的な知識と技術を関連付け、問題解決力、自己解決力を身につけさせる。

【学びに向かう力、人間性等】
・企画力や管理能力などの計画性、責任感を身につけさせ、自発的かつ創造的な学習態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	栽培に関する基礎的・基本的な知識・技術を反復練習により確実に理解して身に着ける。 自ら課題を見つけ解決することで知識の習得と理解を深めることができる。 栽培分野に関する基本的な技術を身につけ、生産や経営管理を合理的に計画し、その技術を適切に活用できる応用力を養う。 また、物事を客観的に捉えて問題に取り組む課題解決力を養い、それらを実行・活用できる。	経営や栽培などの現状について、総合的な視野を持ち、各課題に対して適切に対応できる。また、それらの課題を解決することのできる思考力や判断力がある。 自らの行った研究について正確な記録とそれらを活用して発表し、適切に表現できる。	栽培分野における専門的な知識・技術を主体的に学ぼうとする意欲がある。 栽培管理について責任感を持って遂行できる。 自ら学び、課題を見つけその課題に対して熱心に取り組む姿勢、態度で考え、挑めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1, 1年次の研究を元に計画を立てる。 2, 研究活動を行う。 3, 研究を検証し、まとめる。 4, 研究発表を行う。	どのように研究を進めていくか計画を立て、準備をする。 計画に沿って、また対象の農産物や対照区に合わせ研究をおこなう。 研究がどのように進行しているか、まとめる。 自らが行ってきた研究をまとめ、発表する。	a：栽培に関する基礎的・基本的な知識・技術を理解して身につける。 栽培分野に関する基本的な技術を身につける。 b:経営や栽培などの現状についての視野を養う。 c:栽培分野における専門的な知識・技術を主体的に学ぼうとする意欲がある。	実習記録簿 レポート 学習状況の観察 農業クラブ級位検定	実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会	学習状況の観察 農業クラブ発表会 自己評価
2学期	5, 研究活動を行う。 6, 検証し、改善する。	計画に沿って、また対象の農産物や対照区に合わせ研究をおこなう。 自ら行った研究で生じた問題を解決、改善していく。	a:栽培に関する基礎的・基本的な知識・技術を理解して身につける。 栽培分野に関する生産や経営管理を合理的に計画し、その技術を適切に活用できる力を身につける。 b:各課題に対して理解して判断する力を養う。 c:栽培管理について責任感を持って遂行できる。	実習記録簿 レポート 学習状況の観察 農業クラブ級位検定	実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会	学習状況の観察 農業クラブ発表会 自己評価

3学期	7,課題研究、評価・反省・まとめ	計画、実施した内容の結果について、適否を判断して評価、反省をし、レポートにまとめる。	a:自ら課題を見つけ解決することで、知識の習得と理解を深めることができる。 物事を客観的に捉えて、解決するために実行できる。 b:自らの行ったことについて正確な記録とそれらを活用して発表し、適切に表現できる c:自ら学び、課題を見つけ、課題に対して熱心に取り組む姿勢がある。	実習記録簿 レポート 学習状況の観察	実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会	学習状況の観察 農業クラブ発表会 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度